



# 安全安心だより No.34

～登下校の子どもの安全をみんなで守ろう！～

## 子ども安全安心対策推進事業に関する事例の紹介

### 【長年の懸案事項であった通学路の安全対策について(解決)】

各通学路においてハード面の対策に苦慮されていることが多いと思いますが、これまで紹介してきた清水小学校の取組 (No 9、No 24で紹介) について、今年度長年の懸案であった通学路の安全対策が取られ、解決しましたのでご紹介します。

清水小学校の通学路では、学校近くの交差点において、高学年児童の下校時刻に大学生自転車の通行量が多く、接触事故の危険性が高いため、令和2年度、本事業の指定校に指定されたのを機に、学校、PTA、地域、交番、大学などが協力して対策を検討し、大学職員による見守りや学生への指導、地域による見守りの増加などの対策が講じられてきました。

さらに、10月28日に学校、PTA、地域、交番、大学関係者等による通学路の合同点検が実施され、翌日には、市道路河川管理課により

- ① 自転車の通り道が膨らまないようにするための交差点付近の砂利が撤去され、

3学期始業日直前には

- ② 児童が歩くスペースを確保するため、交差点から東方向の道路にグリーンベルトが設置、③ 西進する自転車道を明確化するため、大学北側の川沿いから交差点付近の横断歩道まで自転車道 (ブルー) が設置されました。



3学期の始業日以降、児童たちが設置されたグリーンベルトからはみ出さないように1列で登校し、大学と下校時刻が重なる時間帯には大学職員による見守り活動も行われています。また、1月末には「自転車は左側通行！」や通学路の表示も付けられハード面の対応が終了しました。関係者が、児童の下校時の安全安心を真剣に話し合い、解決に向かった好事例です。

それを受けて、6年生が卒業プロジェクトの一環として、日々の登下校の見守りや通学路合同点検、大学関係者への感謝の気持ちを伝えるため、自分たちでマスクケースを作成し、関係者にプレゼントしてくれました。

～「子ども安全安心対策推進事業」に関するお問合せ等は～

教育支援センター事務所 (安全・安心担当)

電話089-943-3205 まで



～担当者のひとりごと～

子どもたちのために皆で力を合わせる事が大事ですね。

※学校評議会、PTA、関係機関などとの連携に、ご活用ください。